

母性看護学・助産学分野年報 No.20

Activity Report on Department of Midwifery and Women's Health

**令和3年度
2021.4-2022.3**

**東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻
母性看護学・助産学分野**

Department of Midwifery and Women's Health,
Division of Health Sciences and Nursing,
Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

目 次

1. はじめに	1
2. 研究業績	2
(1) 原著・報告	
(2) 総説・解説など	
(3) 著書・報告書・その他	
(4) 学会発表	
(5) シンポジウム・セミナーなど	
3. 研究活動	6
(1) 抄読会 & 研究報告会	
(2) シフラの会	
(3) 研究プロジェクト	
4. 教育活動	13
(1) 学部講義	
(2) 学部実習	
(3) 大学院講義	
(4) 大学院実習	
(5) 博士論文	
(6) 修士論文	
5. 学内外の活動	24
(1) 学内の活動・役割	
(2) 学外の活動・役割	
(3) その他(学内外における講義・講演など)	
6. 教室日誌	27
7. 教室員名簿	29

1. はじめに

令和3年度母性看護学・助産学分野では、博士1名、修士5名が学位を取得しました。平成14年6月に教室が設置されて以来の学位取得者は、通算で博士15名、修士40名となります。また平成26年4月から開始した修士課程での助産師教育コースでは、7期生となる修了生3名を新人助産師として送り出すことができました。今年度に博士号を取得した清水咲月さんは、修士課程で助産師教育コースをとり、修士課程修了後に臨床経験を経て博士課程に進学をし、博士号を取得した第一号となります。新生児の顔の皮膚トラブルにおける炎症性サイトカインとマラセチアとの関連について、100件を超える家庭訪問をしてサンプリングを行い、実験室での測定も度重なる困難を超えてデータをとり、論文を作成され、高い評価を受けております。こうした助産学分野における教育と研究者養成の循環が徐々に軌道に乗り始めていることに、大変嬉しく思っております。

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大による影響は続いていたものの、昨年度より活動制限レベルは下がり、新しい生活様式にも適応しつつあるように思います。しかしながら、コロナ禍における臨地実習の受け入れ施設でのご苦勞は計り知れないものがあり、助産学実習も母性看護学実習も臨地で実習できたことに、関係してくださった皆さまに心より感謝を申し上げたいと思います。臨地実習をすることが当たり前ではなくなっている状況下において、実習現場の皆様や教員の後進の助産師を育てることへの熱い思いと、それに学生の皆さんも応えてくれることで、教育が成り立ち、この努力がこれからの母子や家族、女性の健康支援に大きくつながっていくことと思います。

修士課程5名の学生もコロナ禍において研究計画の変更など、様々な制約のある中で、多くの方々のご協力を得て、研究を遂行し、修士論文の作成と発表をすることができました。今年中の国際誌への投稿・掲載を理想としています。

4月からは新入生3名と卒論生を迎えます。新しいメンバーを迎えて、より効果的なコミュニケーションの方法を考えて、研究・教育環境を整えていきたいと思っております。

国内外の研究者・専門家や他領域の方々との連携をさらに進め、助産学ならではの研究の推進、成果の発信、学問の構築に向けて更なる努力を続けていきたいと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和4年3月末日

教室主任 春名めぐみ

2. 研究業績

(1) 原著・報告

International Committee of the Japan Society of Midwifery Education (2017～2018): Tharara-Sasagawa, E., Ota, Y., Matsuzaki, M., Shimpuku, Y., & Oishi, T. (2021). Visualization of midwifery education in 109 countries on a world map: Secondary analysis of the data from the International Confederation of Midwives(ICM). *Journal of Japan Academy of Midwifery*, 35(1), 48-56. <https://doi.org/10.3418/jjam.JJAM-2020-0012>

Yonezawa, K., Haruna, M., & Ohya, Y. (2021). Impact of skin conditions of infants on their mothers' quality of life. *Journal of Neonatal Nursing*. <https://doi.org/10.1016/j.jnn.2021.10.012>

Yonezawa, K., Haruna, M., Ohya, Y., & Yamamoto-Hanada, K. (2022). Exacerbation and severity of allergic symptoms during pregnancy and their impact on mental health. *International Journal of Women's Dermatology*. 8(1), e002. <https://doi: 10.1097/JW9.0000000000000002>

Sugawara, C., Yamana, H., Sasagawa, E., Yonezawa, K., Hikita, N., Morita, K., Matsui, H., Yasunaga, H., & Haruna, M. (2021). Factors Associated with Surgical Treatment in Postpartum Women with Mastitis or Breast Abscess: A Retrospective Cohort Study. *Breastfeeding Medicine*. <https://doi.org/10.1089/bfm.2021.0244>

Murakami, M., Yonezawa, K., Shimizu, S., Haruna, M., Sasagawa, E., & Usui, Y. (2021). Newborn-oriented and environmental factors for newborns' skin barrier functions. *Japan Journal of Nursing Science*, e12457. <https://doi.org/10.1111/jjns.12457>

Shiraishi, M., Matsuzaki, M., Tsunematsu, R., Watanabe, S., Kobayashi, R., & Haruna, M. (2021). Effects of Individual Dietary Intervention on Nutrient Intake in Postpartum Japanese Women: A Randomized Controlled Trial. *Nutrients*, 13(9), 3272. <https://doi.org/10.3390/nu13093272>

笹川恵美, 春名めぐみ, 三砂ちづる (2021). ラテンアメリカにおける出産のヒューマニゼーション：助産ケアの法令化. 日本助産学会誌. 35(1), 57-65. <https://doi.org/10.3418/jjam.JJAM-2020-0036>

笹川恵美, 春名めぐみ, 三砂ちづる (2021). 「出産のヒューマニゼーション」概念のラテンアメリカ諸国の法令・政策への波及と包括. 国際保健医療, 36(2), 73-87. <https://doi.org/10.11197/jaih.36.73>

横山萌莉, 大家知恵子, 春名めぐみ, 米澤かおり (2021) 乳児皮膚アセスメントツールの予測妥当性の検証 アトピー性皮膚炎の発症を予測できるか? 木村看護教育振興財団看護研究集録 28, 112-119.

春名めぐみ, 田中萌子, 中野恵子, 西原菜帆, 笹川恵美, 米澤かおり, 臼井由利子, 疋田直子, 藤田愛 (2021). COVID-19 禍での妊娠期から産後のコホート調査: J-PEACH Study の取り組み. DOHaD 研究 第 10 巻 第 1 号 https://doi.org/10.51067/dohad.10.1_46

日本助産師会国際委員会 篠原枝里子, 笹川恵美, 潮田千寿子, 鶴見薫, 今村優子, 安達久美子 (2022). 在日外国人母子保健に関する文献調査報告. 助産師, 76(1), 51-56.

(2) 総説・解説など

中西愛海, 春名めぐみ, 米澤かおり, 笹川恵美, 疋田直子 (2021). 乳児の皮膚トラブルの評価項目に関する文献レビュー. 日本助産学会誌 35(1):3-10.

春名めぐみ, 笹川恵美, 米澤かおり, 臼井由利子 (2022). わたしたちの教育現場 vol.70. 助産雑誌, 76(1), 108-111. <https://doi.org/10.11477/mf.1665201977>

(3) 著書・報告書・その他

茅島江子ら (編), 米澤かおり他執筆(2022). 看護判断のための気づきとアセスメント母性看護. 中央法規出版.

北村俊則, 臼井由利子, 大橋優紀子, 齋藤知見, 篠原枝里子, 羽田彩子, 馬場香里, 松長麻美, 山岸由紀子, 山田露子, 山本真実. (2021). 周産期メンタルヘルススタッフのための多職種連携教本. 北村メンタルヘルス研究所.

北村俊則 (著), 臼井由利子他執筆 (2022). ボンディング障害支援ガイドブック 周産期メンタルヘルス援助者のために. 日本評論社.

我部山キヨ子ら (編), 春名めぐみ他執筆(2022). 助産学講座 1 基礎助産学 [1] 助産学概論. 医学書院.

我部山キヨ子ら (編), 春名めぐみ, 米澤かおり他執筆(2022). 助産学講座 6 助産診断・技術学II [1] 妊娠期. 医学書院.

日本助産学会 (編), ガイドライン委員会 助産ガイドライン解説版ワーキンググループ 笹川恵美他執筆 (2022). 妊娠出産される女性とご家族のための助産ガイドライン解説版 2021年度版. 日本助産学会事務局

笹川恵美 他 (監修) (2021). クエスチョン・バンク 看護師国家試験問題解説 2022. 母性看護学. メディックメディア.

笹川恵美 他 (監修) (2022). 看護師看護学生のためのレビューブック 2023. 母性看護学. メディックメディア.

笹川恵美, 春名めぐみ (西田梨花子, 前島真理子) 2019 年度日本助産学会研究助成金 (若手研究助成) 研究報告書「就労妊婦のマイナートラブルとワーク・エンゲイジメントに関する研究」

(4) 学会発表

Akiko NISHINO, Yoritaka HARAZONO, Moeko TANAKA, Kazunori YOSHIDA, Toko FUNAKI, Ryosuke TAKADA, Takenori NASU, Taketo TOBIMATSU. Role of Home-Modification Training for Care Managers. THE GERONTOLOGICAL SOCIETY OF AMERICA: GSA 2021 Annual Scientific Meeting. NOVEMBER 10-14. PHOENIX, AZ (transitioning to an online format)

Emi Sasagawa, Elsy Chacón de Arévalo, Flor de María Aguilar. Cooperación Técnica: Proyecto de la Atención Humanizada del Parto Basada en la Evidencia Científica en el Hospital Nacional de la Mujer (スペイン語) (技術協力：国立女性病院における科学的根拠に基づいた人間的出産プロジェクト) . Congreso Virtual Internacional del Hospital El Salvador. Web 学会. 2021 年 12 月 1~3 日

米澤かおり, 戸瀬知実, 笹川恵美, 臼井由利子, 春名めぐみ. COVID-19 感染拡大期における新生児を抱えた母親の体験. 第 41 回日本看護科学学会学術集会. Web 学会. 2021 年 12 月 4~5 日.

米澤かおり, 横山萌莉, 松原愛海, 春名めぐみ. 生後 1 か月の皮膚トラブル重症度による生後 12 か月までのアトピー性皮膚炎・食物アレルギーの関連. 日本助産学会学術集会. Web 学会. 2022 年 3 月 19~20 日

富田綾, 笹川恵美, 米澤かおり, 臼井由利子, 春名めぐみ. 乳児哺乳行動アセスメントツールの日本語版作成と妥当性・信頼性の検証. 日本助産学会学術集会. Web 学会. 2022 年 3 月 19~20 日

三瓶頼子, 田口菜々子, 笹川恵美, 米澤かおり, 臼井由利子, 春名めぐみ. 日本人産婦における分娩第 2 期所要時間に影響する要因：カルテデータを用いた後ろ向き観察研究. 日本助産学会学術集会. Web 学会. 2022 年 3 月 19~20 日

(5) シンポジウム・セミナーなど

Kaori Yonezawa (シンポジスト)

Session2 Primary prevention of atopic dermatitis "Effects of moisturizing skin care among first 3 months of life" 11th Georg Rajka International Symposium on Atopic Dermatitis ISAD2021, April 19-20, 2021.

Seoul Dragon City, South Korea (Online, Hybrid Meeting)

米澤かおり (講師)

「最新エビデンスで学ぶ. 新生児のスキンケア」

日総研オンラインセミナー (録画配信)

2021年4月13日~27日 (Web開催)

改訂版 2021年12月22日-2022年2月16日 (Web開催)

米澤かおり (講師)

「新生児のスキンケアとアレルギー予防」

ピジョン株式会社 Webセミナー

田中萌子 (シンポジスト)

実践型教育 WINGS-GLAFS から: 「コロナで学んだ高齢社会総合研究〜スタジ
オ体験を通じて」. 東京大学ジェロントロジー産学連携プロジェクトオンライン
シンポジウム 2022: ジェロントロジー総合研究が拓く新未来像

2022年3月9日 (Web開催)

春名めぐみ (座長)、対馬ルリ子 (演者)

教育講演 1: 多職種で実現する女性の心と体の健康

日本助産学会学術集会. 2022年3月19-20日 (Web開催)

春名めぐみ、村山陵子 (座長)、東尾理子 (演者)、轟 麻衣子、堤 治 (鼎談)

ゲスト講演: 私の楽しい妊娠出産子育て体験—3人の子どもに恵まれて

第5回日本産前産後ケア・子育て支援学会. 2022年2月27日 (Web開催)

宮下光令、河野あゆみ、春名めぐみ

「査読者や編集委員の視点からみた JANS 和文誌に論文を載せるコツ」をこっ
そり教えます

第41回日本看護科学学会学術集会交流集会. 2021年12月5日 (Web開催)

河合蘭、光畑由佳 (主催) ドーリング景子、笹川恵美、春山怜、福澤利江子 (講師)

Special Vision#5 WHOの新分娩ガイドライン第2弾 特に注目したい項目&大きな
効果が期待される項目

2021年10月3日 (Web開催)

笹川恵美 (座長) 大平光子、Patrea Anderson、Terri Downer (演者)

Simulation-Based Midwifery Education in the COVID-19 Era (Covid-19時代のシミュ
レーションによる助産学教育)

全国助産師教育協議会主催国際交流研修会. 2021年11月27日 (Web開催)

JICA 母子保健サブネットワーク (主催) 定森徹、笹川恵美、三砂ちづる (講師)

「人間的なお産」から学ぶ質の高いケアの展開に向けて

2022年1月12日 (Web開催)

Emi Sasagawa (講師)

Seminarios especiales de Asociación de Ginecología y Obstetricia de El Salvador

“Atención durante el trabajo de parto basada en la evidencia científica: Interpretación y aplicación” (エルサルバドル産婦人科学会主催特別セミナー「科学的根拠に基づいた分娩期のケア：解釈と適応」) (スペイン語) 2022年3月1日 (Web開催)

3. 研究活動

(1) 抄読会 & 研究報告会 (毎週火曜日)

令和3年度、抄読会において紹介された文献および紹介者は以下の通りである。

前期 2021.4/6～7/13, 後期 2021.9/7～2022.3/1

月 日	担 当	内 容
4月6日	抄読会係 春名めぐみ	抄読会オリエンテーション 研究報告
4月13日	山本祭 城戸真和子 笹川恵美 米澤かおり	Hatamleh, R., Abujilban, S., AbuAbed, A., & Abuhammad, S. (2019). The effects of a childbirth preparation course on birth outcomes among nulliparous Jordanian women. <i>Midwifery</i> , 72, 23–29. (クリティーク 富田) 修士論文進捗報告 研究報告 研究報告
4月20日	丹家歩 三瓶頼子 臼井由利子	Pan, W. L., Gau, M. L., Lee, T. Y., Jou, H. J., Liu, C. Y., & Wen, T. K. (2019). Mindfulness-based programme on the psychological health of pregnant women. <i>Women and birth : journal of the Australian College of Midwives</i> , 32(1), e102–e109. (クリティーク 清水) 修士論文進捗報告 研究報告
4月27日	青山紗都子 若林南奈 富田綾	Barakat, R., Refoyo, I., Coteron, J., & Franco, E. (2019). Exercise during pregnancy has a preventative effect on excessive maternal weight gain and gestational diabetes. A randomized controlled trial. <i>Brazilian journal of physical therapy</i> , 23(2), 148–155. (クリティーク 臼井) 修士論文進捗報告 修士論文進捗報告
5月11日	戸瀬知実 丹家歩 山本祭	Volgsten, H., Jansson, C., Svanberg, A. S., Darj, E., & Stavreus-Evers, A. (2018). Longitudinal study of emotional experiences, grief and depressive symptoms in women and men after miscarriage. <i>Midwifery</i> , 64, 23–28. (クリティーク 米澤) 修士論文進捗報告 修士論文進捗報告
5月18日	大山朋実	Kornfeind, K. R., & Sipsma, H. L. (2018). Exploring the Link between Maternity Leave and Postpartum Depression. <i>Women's health issues : official publication of the Jacobs Institute of Women's Health</i> , 28(4),

		321-326.(クリティーク 笹川)
	田口菜々子	修士論文進捗報告
	田中萌子	博士論文計画
5月25日	山田桃子	Visscher, M., Odio, M., Taylor, T., White, T., Sargent, S., Sluder, L., Smith, L., Flower, T., Mason, B., Rider, M., Huebner, A., & Bondurant, P. (2009). Skin care in the NICU patient: effects of wipes versus cloth and water on stratum corneum integrity. <i>Neonatology</i> , 96(4), 226-234. (クリティーク 春名)
	青山紗都子	修士論文相談
	中西愛海	博士論文計画
	大堀璃子	博士論文計画
6月1日	三瓶頼子	Shmueli, A., Salman, L., Orbach-Zinger, S., Aviram, A., Hirsch, L., Chen, R., & Gabbay-Benziv, R. (2018). The impact of epidural analgesia on the duration of the second stage of labor. <i>Birth (Berkeley, Calif.)</i> , 45(4), 377-384. (クリティーク 山本祭)
	戸瀬知実	修士論文相談
	村本美由希	博士論文相談
	城戸真和子	修士論文進捗
6月8日	田口菜々子	Simonet, T., Gakuba, C., Desmeulles, I., Corouge, J., Beucher, G., Morello, R., Gérard, J. L., Ducloy-Bouthors, A. S., Dreyfus, M., & Hanouz, J. L. (2020). Effect of Oral Carbohydrate Intake During Labor on the Rate of Instrumental Vaginal Delivery: A Multicenter, Randomized Controlled Trial. <i>Anesthesia and analgesia</i> , 130(6), 1670-1677.(クリティーク 田中萌子)
	大山朋実	修士論文相談
	富田綾	修士論文進捗
6月15日	若林南奈	Aparicio, E., Martín-Grau, C., Bedmar, C., Serrat Orus, N. S., Basora, J., Arija, V., & The Eclipses Study Group (2021). Maternal Factors Associated with Levels of Fatty Acids, Specifically n-3 PUFA during Pregnancy: ECLIPSES Study. <i>Nutrients</i> , 13(2), 317. (クリティーク 城戸真和子)
	山田桃子	修士論文相談
	清水咲月	博士論文進捗報告
6月22日	中西愛海	Csoma, Z. R., Meszes, A., Ábrahám, R., Kemény, L., Tálosi, G., & Doró, P. (2016). Iatrogenic Skin Disorders and Related Factors in Newborn Infants. <i>Pediatric dermatology</i> , 33(5), 543-548. (クリティーク 青山紗都子)
	三瓶頼子	修士論文進捗報告
	丹家歩	修士論文進捗報告
6月29日	村本美由希	Monteiro, F., Fonseca, A., Pereira, M., Alves, S., & Canavarro, M. C. (2019). What protects at-risk postpartum women from developing depressive and anxiety symptoms? The role of acceptance-focused processes and self-compassion. <i>Journal of affective disorders</i> , 246, 522-529. (クリティーク 戸瀬)
	山本祭	修士論文進捗報告
	田中萌子	博士論文計画
	野村先生	研究紹介

7月6日	城戸真和子	Garcia Bartels, N., Scheufele, R., Prosch, F., Schink, T., Proquitté, H., Wauer, R. R., & Blume-Peytavi, U. (2010). Effect of standardized skin care regimens on neonatal skin barrier function in different body areas. <i>Pediatric dermatology</i> , 27(1), 1–8. (クリティーク大山)
	田口菜々子	修士論文進捗報告
	中西愛海	博士論文計画
7月13日	大堀璃子	Ha, A., Zhao, Y., Pham, N. M., Nguyen, C. L., Nguyen, P., Chu, T. K., Tang, H. K., Binns, C. W., & Lee, A. H. (2019). Postpartum weight retention in relation to gestational weight gain and pre-pregnancy body mass index: A prospective cohort study in Vietnam. <i>Obesity research & clinical practice</i> , 13(2), 143–149. (クリティーク 山田)
	若林南奈	修士論文進捗報告
	村本美由希	博士論文計画
7月16日	浅井百合絵	博士論文進捗報告
9月7日	浅井百合絵	Youssef, A., Fiorentini, M., Di Donna, G., Brunelli, E., Salsi, G., Pilu, G., & El-Balat, A. (2021). The correlation between transperineal ultrasound assessment of the levator ani muscle and postpartum urinary incontinence. <i>Neurourology and urodynamics</i> , 40(7), 1786–1795. (クリティーク青山)
	若林南奈	修士論文進捗報告
	大堀璃子	博士論文進捗報告
9月14日	富田綾	Dolgun, G., İnal, S., Erdim, L., & Korkut, S. (2018). Reliability and validity of the Bristol Breastfeeding Assessment Tool in the Turkish population. <i>Midwifery</i> , 57, 47–53. (クリティーク三瓶)
	戸瀬知実	修士論文相談
	城戸真和子	修士論文進捗報告
9月21日	大山朋実	Fall, A., Goulet, L., & Vézina, M. (2013). Comparative study of major depressive symptoms among pregnant women by employment status. <i>SpringerPlus</i> , 2(1), 201. (クリティーク大堀)
	山田桃子	修士論文相談
	松原愛海	博士論文計画
9月28日	田中萌子	Obeysekare, J. L., Cohen, Z. L., Coles, M. E., Pearlstein, T. B., Monzon, C., Flynn, E. E., & Sharkey, K. M. (2020). Delayed sleep timing and circadian rhythms in pregnancy and transdiagnostic symptoms associated with postpartum depression. <i>Translational psychiatry</i> , 10(1), 14. (クリティーク 丹家)
	三瓶頼子	修士論文進捗報告
	清水咲月	博士論文進捗報告
10月5日	青山紗都子	修士論文相談
	大山朋実	修士論文相談
	富田綾	修士論文進捗報告
	丹家歩	修士論文進捗報告
10月12日	若林南奈	Matsuzaki, M., Haruna, M., Ota, E., Sasaki, S., Nagai, Y., & Murashima, S. (2008). Dietary folate intake, use of folate supplements, lifestyle factors, and serum folate levels among pregnant women in Tokyo, Japan.
	山本祭	

	城戸真和子	The journal of obstetrics and gynaecology research, 34(6), 971–979. (クリティーク田口) 修士論文進捗報告 修士論文進捗報告
10月19日	三瓶頼子	Vossbeck-Elsebusch, A. N., Freisfeld, C., & Ehring, T. (2014). Predictors of posttraumatic stress symptoms following childbirth. BMC psychiatry, 14, 200. (クリティーク松原)
	田中萌子	博士論文計画
10月26日	戸瀬知実	Kress, V., von Soest, T., Kopp, M., Wimberger, P., & Garthus-Niegel, S. (2021). Differential predictors of birth-related posttraumatic stress disorder symptoms in mothers and fathers - A longitudinal cohort study. Journal of affective disorders, 292, 121–130. (クリティーク山本)
	若林南奈	修士論文進捗報告
	大堀璃子	博士論文進捗報告
11月2日	青山紗都子	Isbir, G. G., & Mete, S. (2016). The effect of counselling on nausea and vomiting in pregnancy in Turkey. Sexual & reproductive healthcare : official journal of the Swedish Association of Midwives, 7, 38–45. (クリティーク若林)
	三瓶頼子	修士論文進捗報告
	戸瀬知実	修士論文相談
	浅井百合絵	博士論文進捗報告
11月9日	山田桃子	Legemaat, M., Carr, P. J., van Rens, R. M., van Dijk, M., Poslowsky, I. E., & van den Hoogen, A. (2016). Peripheral intravenous cannulation: complication rates in the neonatal population: a multicenter observational study. The journal of vascular access, 17(4), 360–365. (クリティーク城戸)
	富田綾	博士論文進捗報告
11月16日	山本祭	修士論文進捗報告
	丹家歩	修士論文進捗報告
	松原愛海	博士論文計画
11月24日	山田桃子	修士論文計画
	田中萌子	博士論文計画
11月30日	青山紗都子	修士論文計画
	大山朋実	修士論文計画
12月7日	丹家歩	修士論文進捗報告
	富田綾	修士論文進捗報告
	城戸真和子	修士論文進捗報告
	若林南奈	修士論文進捗報告
	三瓶頼子	修士論文進捗報告
12月14日	丹家歩	修士論文進捗報告
	富田綾	修士論文進捗報告
	城戸真和子	修士論文進捗報告
	若林南奈	修士論文進捗報告
	三瓶頼子	修士論文進捗報告

12月21日	丹家歩 富田綾 城戸真和子 若林南奈 三瓶頼子	修士論文進捗報告 修士論文進捗報告 修士論文進捗報告 修士論文進捗報告 修士論文進捗報告
1月4日	丹家歩 富田綾 城戸真和子 若林南奈 三瓶頼子	修士論文進捗報告 修士論文進捗報告 修士論文進捗報告 修士論文進捗報告 修士論文進捗報告
1月11日	丹家歩 富田綾 城戸真和子 若林南奈 三瓶頼子	修士論文発表練習 修士論文発表練習 修士論文発表練習 修士論文発表練習 修士論文発表練習
1月14日	丹家歩 富田綾 城戸真和子 若林南奈 三瓶頼子	修士論文発表練習 修士論文発表練習 修士論文発表練習 修士論文発表練習 修士論文発表練習
1月18日	丹家歩 富田綾 城戸真和子 若林南奈 三瓶頼子	修士論文発表練習 修士論文発表練習 修士論文発表練習 修士論文発表練習 修士論文発表練習
1月25日	松原愛海 岸野桜子 大山朋実 大堀璃子	de Faria, M. F., Ferreira, M., Felix, M., Calegari, I. B., & Barbosa, M. H. (2019). Factors associated with skin and mucosal lesions caused by medical devices in newborns: Observational study. <i>Journal of clinical nursing</i> , 28(21-22), 3807-3816.(クリティーク山田) 卒論発表練習 修士論文計画 博士論文進捗
2月8日	山本祭 田中萌子	修士論文進捗 博士論文計画
2月15日	丹家歩 松原愛海 三瓶頼子 富田綾 米澤先生	Tsai, S. Y., Lee, P. L., Gordon, C., Cayanan, E., & Lee, C. N. (2021). Objective sleep efficiency but not subjective sleep quality is associated with longitudinal risk of depression in pregnant women: A prospective observational cohort study. <i>International journal of nursing studies</i> , 120, 103966. (クリティーク大山) 博士論文計画 助産学会予行 助産学会予行 助産学会予行
2月22日	戸瀬知実	修士論文計画

	丹家歩	英語発表
	富田綾	英語発表
	城戸真和子	英語発表
	若林南奈	英語発表
	三瓶頼子	英語発表
3月1日	富田綾	Takahashi, Y., Uvnäs-Moberg, K., Nissen, E., Lidfors, L., Ransjö-Arvidson, A. B., & Jonas, W. (2021). Epidural Analgesia With or Without Oxytocin, but Not Oxytocin Alone, Administered During Birth Disturbs Infant Pre-feeding and Sucking Behaviors and Maternal Oxytocin Levels in Connection With a Breastfeed Two Days Later. <i>Frontiers in neuroscience</i> , 15, 673184. (クリティーク戸瀬)
	山田桃子	修士論文計画
	青山紗都子	修士論文計画
	浅井百合絵	博士論文発表練習

(2) シフラの会

第29回シフラの会 2021年4月9日 16:00～18:00 (Zoom開催)
カルテ調査のポイント
講師：佐々木敏先生 (東京大学大学院医学系研究科 社会予防疫学分野 教授)

第30回シフラの会 2021年5月13日 10:00～11:00 (Zoom開催)
尺度作成の翻訳・インタビュー方法
講師：福澤利江子先生 (筑波大学 医学医療系 助教)

第31回シフラの会 2021年9月3日 10:00～11:00 (Zoom開催)
マダガスカルにおける乳児ケアの実際 (スキンケアと栄養)
講師：高橋弘美先生

(3) 研究プロジェクト

春名めぐみ, 佐々木敏, 松崎政代, 白石三恵, 藤田愛, 末次美子, 疋田直子,
妊娠各期の至適体重増加とそれに関連する健康行動・心理社会的要因：コホート
研究
2019年度～2021年度 基盤研究(B)

春名めぐみ, 笹川恵美, 米澤かおり
妊婦の概日リズムや食事時間のパターンと栄養代謝との関連の解明
2019年度～2021年度 挑戦的研究(萌芽)

笹川恵美
エルサルバドル国立女性病院における科学的根拠に基づいた人間的出産プロジェクト

JICA 草の根技術協力事業（パートナー型）2017年12月～2022年12月

笹川恵美

エルサルバドルのパイロット病院 5 施設における人間的出産モデルの構築と効果の検証

文部科学省科学研究費 若手研究 2018年度～2023年度

笹川恵美, 春名めぐみ, Anderson P, Hanson J, Downer T, Dunn P. Virtual reality の助産教育に及ぼす学習効果の評価：日本・オーストラリア・ニュージーランド共同研究. ファイザーヘルスリサーチ振興財団 第 29 回（2020 年度） 国際共同研究助成. 2020 年 12 月～2022 年 11 月

笹川恵美, 春名めぐみ, 富田綾

新生児の授乳行動への麻酔分娩等の医療介入と早期母子接触による影響：前向き観察研究

2021 年度～2022 年度 日本助産学会奨励研究助成 (B)

笹川恵美, 春名めぐみ, 米澤かおり, 臼井由利子, 小山博史, Lem Wey Guan, 大野昴紀, 他

ウィズコロナ時代の助産師教育における分娩介助技術に関するバーチャルリアリティを用いた教材の開発と評価

2021 年 9 月～2022 年 3 月 2021 年度東京大学 VR センタープロジェクト

米澤かおり, 樋口幸, 峰松健夫, 春名めぐみ

スキンプロットティング法を用いた新生児の皮膚トラブル発症のメカニズム解明研究代表者

文部科学省科学研究費 基盤研究 B 2020 年度～2023 年度

米澤かおり, 春名めぐみ, 藤原(田口)菜々子

分娩時の食事摂取と出産アウトカム、産婦の疲労感、出産満足度との関連 2020 年度～2021 年度 日本助産学会研究助成（若手研究）

臼井由利子

出産への思い質問票の短縮版の開発と有用性の検討

2020 年度～2021 年度 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）研究活動スタート支援

清水咲月

皮膚トラブル予防を目指した新しい沐浴方法の開発：前向き観察研究

2020 年度～2022 年 3 月 公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金

浅井百合絵

産後女性における骨盤底障害のケアツールの開発と普及

2019 年度～2022 年 3 月 公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金

丹家歩, 春名めぐみ, 笹川恵美, 米澤かおり, 臼井由利子
 妊婦への『出産と育児のためのマインドフルネスプログラム』のオンライン
 日本語版開発と効果検証
 2020年度ユニバーサル財団研究助成(2021年10月～2022年3月)
 研究テーマ『すべての人が健康に生きる未来へ』

4. 教育活動

(1) 学部講義

1) 母性看護学 3年後期I-1・2

目的：人間のライフサイクルの中で生殖に関与する期間のうち，妊娠，分娩，
 産褥各期を中心に，その基礎と健康問題のアセスメント及び看護の計
 画，実施，評価法を学習する。

参考書：系統看護学講座 専門24・25 母性看護学概論・各論〔1〕〔2〕
 医学書院
 現代の母性看護 概論 名古屋大学出版会

講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
10月7日(木)	13:00～16:40	分娩期の看護	丸山
10月14日(木)	13:00～16:40	母性看護概論・妊娠期の看護	春名
10月21日(木)	13:00～16:40	新生児(正常・ハイリスク)の看護	岡本
10月28日(木)	13:00～14:45	産褥期の経過と看護	笹川
10月28日(木)	14:55～16:40	分娩期の経過(正常・異常)・産褥期の異常	永松
11月4日(木)	13:00～16:40	施設内分娩における助産師の役割	今井
11月11日(木)	13:00～16:40	自然出産と助産師の仕事	三宅
11月18日(木)	13:00～16:40	妊産褥婦，新生児の事例展開・試験	米澤 臼井

非常勤講師: 丸山暁子 東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科病棟 副看護師長
 岡本行江 社会福祉法人 埼玉医大福祉会 カルガモの家 看護部 師長
 永松健 東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科 准教授
 今井晶子 社会福祉法人 恩賜財団 母子愛育会 総合母子保健センター
 愛育病院 看護師長
 三宅はつえ もものみ助産院 出張開業助産師
 日本助産師会 元茨城県支部長

2) 健康総合科学概論

対象：2年生(進学予定学生)

期日：4学期 令和3年11月1日(月)

講義題目：「妊娠・出産をめぐる社会の変化と課題」

担当：春名めぐみ

3) 救急処置 3年生 S1

講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
4月6日(火)	14:55~16:40	救急医療と災害時の医療システム 救急看護・災害看護の概要	笹川
4月13日(火)	14:55~16:40	分娩期の看護外傷・熱傷, 急性 中毒, アナフィラキシー, 熱中症	米澤
4月20日(火)	14:55~18:35	救急時の観察・トリアージ (オンデマンド)	佐藤
4月27日(火)	14:55~16:40	事例発表準備 (グループワーク)	春名 笹川 米澤 臼井
5月11日(火)	14:55~18:35	事例・試験	春名 笹川 米澤 臼井

非常勤講師: 佐藤智加 東京大学医学部附属病院 救急科 救急認定看護師

4) 看護学概論I: 生きることを支える科学 (総合科学: 人間・環境一般)

対象: 駒場1・2年生

日程	時間	講義題目	担当
4月15日(木)	16:50~18:35	いのちの誕生を支える	春名
4月22日(木)	16:50~18:35	世界の健康を支えたい	笹川

5) 公共健康科学統合講義II

対象: 健康総合科学科学部生

日程: 令和3年5月20日(木)

講義題目: 母子の健康

担当: 春名めぐみ

(2) 学部実習

1) 母性看護学実習

対象: 3年生

担当: 春名めぐみ, 笹川恵美, 米澤かおり, 臼井由利子

目的: 妊婦, 産婦, 褥婦および新生児とその家族を理解し, 対象に応じた看護
を実践できる知識・技術を養い, 態度を培う。

期間: 令和4年2月7日(月)~18日(金) (2週間)

実習施設: 東京大学医学部附属病院

東京北医療センター

ウパウパハウス岡本助産院

実習時間: 8:15~16:15

2) 生命科学実習I (ラボメソ)

対象：3年生

担当：春名めぐみ, 笹川恵美 (看護学系教室担当：生理学)

目的：人体の形態・機能を生理学的に理解し、評価する方法論を理解、考ずる。評価対象として、①神経・筋骨格系、②呼吸器系と胸部、③循環器系と腹部、④外皮系、の4つをとりあげる。これらはそれぞれ独立して評価可能であると同時に、相互に深く結びついている。実習では、それらを効果的に評価する方法論として、問診・視診・触診などの観察方法と、客観的手法である「機器を用いた測定方法」を学ぶ。人を対象とした測定における留意点を考察し、取得したデータから科学的に吟味し、思考、解釈する過程を経験する。

日程：看護学系教室担当 2021年6月7日(月) (Web開催)

(3) 大学院講義

1) 母性看護学・助産学特論I

目的：母性看護学・助産学分野における現在のニーズ・課題、最新の研究の動向について把握し、今後の研究課題を考察するために必要な科学的思考を身につける。具体的には、根拠に基づく医療・看護と文献レビューの基本的な考え方および方法論について学ぶ。

方法：根拠に基づく医療・看護 (Evidence-based Medicine・Nursing) と文献レビューの基本的な考え方および方法論について、演習を通して学ぶ。非常勤講師による講義では、最新の知見・動向をもとにディスカッションを行う。

参考書：

- Higgins JPT, Green S (editors). Cochrane Handbook for Systematic Reviews of Interventions Version 5.1.0 [updated March 2011]. The Cochrane Collaboration, 2011. Available from www.cochrane-handbook.org.
- Sterne, J. A., Egger, M., & Smith, G. D. (2001). Systematic reviews in health care: investigating and dealing with publication and other biases in meta-analysis. *BMJ: British Medical Journal*, 323(7304), 101.
- Midwifery, An Executive Summary for The Lancet's Series. *Lancet*, 2014. 20;384(9948)
- Maternal Health, An Executive Summary for The Lancet's Series. *Lancet*, 2016. 29;388(10056)
- 諏訪敏幸. 看護研究者・医療研究者のための系統的文献検索概説. 近畿病院図書室協議会, 2013.

講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
4月8日(木)	13:00~16:40	EBMの基本と考え方	春名
4月22日(木)	10:25~16:40	ライフコース疫学やエコチル・統計分析	竹内
5月10日(月)	13:00~16:40	メタ解析の手法	大田

5月17日(月)	13:00~16:40	PICOから検索、バイアスの評価の方法	大田
5月20日(木)	13:00~16:40	文献レビューの基本的な考え方・方法論	春名
5月27日(木)	13:00~16:40	助産学分野における研究課題とその動向	春名

非常勤講師：竹内文乃 慶應義塾大学医学部 講師
大田えりか 聖路加国際大学 教授

2) 母性看護学・助産学特論II

目的：母性看護・助産実践に関連する理論，モデルを学ぶとともに，研究計画の立案，論文作成に必要な知識・技術を身につける。具体的には，実際の研究例をもとに，研究の組み立て方，研究手法，論文作成方法等について学ぶ。さらに当分野におけるトピックスについての討論を通して，論理的な思考方法を学ぶ。

方法：論理的な文章を書くための基本的な考え方と方法論についての演習（トピックスについての討論），および非常勤講師による講義。

参考書：

- Wayne C. Booth, Gregory G. Colomb, Joseph M. Williams. *The Craft of Research (Chicago Guides to Writing, Editing, and Publishing)* 2008.
- Gary Blake, Robert W. Bly. *Elements of Technical Writing* (Longman; 1版) 1993.
- William Strunk Jr., E. B. White. *The Elements of Style, Fourth Edition.* (Longman; 4版) 1999.
- Thomas A. Lang 著、宮崎喜久子・中山健夫訳，トムラングの医学論文「執筆・出版・発表」実践ガイド，シナジー

講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
9月2日(木)	13:00~16:40	論理的な文章を書くためにI	春名
9月6日(月)	8:30~10:15	論理的な文章を書くためにII	春名
9月10日(金)	13:00~14:45	論文のスタイル	臼井
9月13日(月)	13:00~16:40	海外をフィールドとした研究手法	笹川
9月15日(水)	13:00~18:35	政策につなぐ看護学・助産学研究の課題と展望	福井
9月16日(木)	13:00~16:40	Publishing ethics	米澤
9月24日(金)	13:00~16:40	助産学に関連する理論とその応用	春名

非常勤講師：福井トシ子 公益社団法人 日本看護協会 会長

3) 助産師教育コース（助産師教育コース課程履修者必修）

a. 助産学I 修士課程1年前期

目的：助産学の基本概念および助産師の役割と責務，倫理的課題を理解し，専門的自律能力を身に付け，国内外におけるこれからの助産師の役割を考える視点を養う。さらに助産学研究の意義や今後の方向性について考察する力を養う。

参考書：

- ・助産学講座 1. 助産学概論, 医学書院
- ・助産学講座 2. 母子の基礎科学, 医学書院
- ・プリンシプル産科婦人科学 2. メジカルビュー社；改訂版

講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
4月5日(月)	13:00~14:45	概論Ⅰ 助産学の基本的概念・理念と助産の歴史・今後の動向	春名
4月7日(水)	13:00~14:45	概論Ⅱ 助産師の役割と機能および責務	春名
4月16日(金)	8:00~10:00	概論Ⅱ 助産師の役割と機能および責務	春名

※下記は8月・9月開講のM2講義と合同

性と生殖Ⅰ：正常月経周期・無月経・更年期ヘルスケア・子宮内膜症

性と生殖Ⅱ：卵の成熟・精子の発生・受精・不妊症・生殖補助医療

産科学Ⅰ：妊娠の診断・正常な妊娠経過・胎児発育・妊娠に伴う心理社会的変化

産科学Ⅱ：妊娠期の異常・診断・治療

産科学Ⅲ：正常分娩・産褥経過

産科学Ⅳ：分娩期・産褥期の異常・診断・治療

b. 助産学Ⅱ 修士課程1年前期

目的：周産期および更年期において、助産師が担う重要な相談・教育・援助活動をするための知識・技術を養う。また助産学が対象とする女性の健康増進への理解を深めるとともに、臨床課題を見つけ、科学的根拠に基づく助産ケアを考える力を養う。さらに助産ケアの有効性やその評価方法を考慮した計画立案ができる力を養う。

参考書：

- ・First, M., Spitzer, R. L., Gibbon, M. and Williams, J. B. W.: Structured Clinical Interview for DSM-IV Axis I Disorders. 高橋三郎(監修)北村俊則, 岡野禎治(訳)精神科診断面接マニュアル[第2版]. 日本評論社, 東京, 2010.
- ・北村俊則：だれでもできる精神科診断用構造化面接：SCID 入門, 北村メンタルヘルス研究所, 2013.
- ・北村俊則(編)：事例で読み解く周産期メンタルヘルスケアの理論：産後うつ病発症のメカニズムの理解のために. 医学書院, 東京, 2007.
- ・北村俊則：周産期メンタルヘルススタッフのための心理介入教本. 北村メンタルヘルス研究所, 2013.
- ・村上明美(編)：事例から学ぶ産科医療補償制度と助産リスクマネジメント. 医歯薬出版, 2018.

講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
5月31日(月)	13:00~18:35	遺伝相談・不妊治療・出生前診断における助産ケア(基礎知識・事例検討)	小笹

6月10日(木)	13:00~14:45	婦人科・不妊治療看護	米澤
6月14日(月)	13:00~18:35	助産における医療安全	村上
6月17日(木)	13:00~16:40	地域における家族形成期の助産師の役割 (DV/虐待予防)	春名 臼井
7月1日(木)	13:00~16:40	最新の女性医療・疾病予防(基礎知識)	対馬
7月1日(木)	16:50~18:35	最新の女性医療・疾病予防(症例検討)	対馬
9月15日(水)	13:00~16:40	周産期メンタルヘルス(心理的援助技 法) I	臼井

非常勤講師：小笹由香 東京医科歯科大学医学部附属病院 臨床試験管理センター
看護師長

村上明美 神奈川県立保健福祉大学 教授

対馬ルリ子 女性ライフクリニック 院長

c. 助産学III 修士課程1年前期

目的：産褥期・育児期を中心とした褥婦および新生児・乳児の健康状態をアセスメントするために、正常及びハイリスク妊産褥婦・新生児・乳児についての基礎的な知識を理解するとともに、健康状態をアセスメントし、母子や家族への適切な助産ケアについて考える。また、ケアの科学的根拠についても把握し、期待される効果について予測するとともに、改善のために必要な研究的アプローチについても考察できる力を養う。

参考書：

- ・助産学講座 6. 助産診断・技術学II[1], 医学書院
- ・助産学講座 8. 助産診断・技術学II[3], 医学書院
- ・プリンシプル産科婦人科学 2. メジカルビュー社; 改訂版
- ・仁志田博司. 新生児学入門、第3版、医学書院
- ・編) 厚生労働科学研究 妊娠出産ガイドライン研究班, 科学的根拠に基づく快適で安全な妊娠出産のためのガイドライン 2013年版(第1版), 金原出版.

講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
4月21日(水)	13:00~14:45	ハイリスク妊婦のアセスメントとケア	矢神
4月28日(月)	13:00~16:40	正常妊産婦のアセスメントとケア	臼井
5月6日(木)	13:00~16:40	産褥期のアセスメントと援助技術	臼井
5月15日(土)	10:25~16:40	授乳期の援助	井村
6月9日(水)	13:00~16:40	産褥期・乳児期のアセスメントと援助技 術	米澤
6月21日(月)	13:00~16:40	周産期メンタルヘルス(心理的援助技 法) I	安田

6月24日(木)	14:55~16:40	正常妊婦のアセスメントと指導計画	臼井
1月25日(火)	13:00~16:40	周産期メンタルヘルス(心理的援助技法)II	安田

非常勤講師：矢神智美 東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科病棟 副看護師長
井村真澄 日本赤十字看護大学 教授
安田貴昭 埼玉医科大学総合医療センター 准教授

d. 助産学IV 修士課程1年前期

目的：分娩期を中心とした産婦・褥婦，および胎児・新生児の健康状態を診断し，適切なケア技術を実施するための基礎的な知識・技術を学ぶ。さらに，産婦の安全，安心，快適，満足な出産の実現に向けたケアの創造と，それを実施できる知識と技術を養う。また分娩時ケアを評価・改善するために必要な方法・技術について考察する力を養う。

参考書：

- ・助産学講座 3. 母子の健康科学, 医学書院
- ・助産学講座 7. 助産診断・技術学II[2], 医学書院
- ・助産学講座 8. 助産診断・技術学II[3], 医学書院
- ・基礎から学ぶ産婦人科超音波診断, 東京医学社
- ・助産師のためのフィジカルイグザミネーション, 医学書院

講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
4月14日(水)	13:00~16:40	分娩期アセスメント：経過の予測診断技術	笹川
4月19日(月)	13:00~14:45	分娩介助技術(1)：直接介助法・間接介助法	笹川
4月19日(月)	14:55~16:40	演習①：直接介助法・間接介助法	笹川 米澤 臼井
4月26日(月)	13:00~14:45	分娩介助技術(2)：異常分娩・産科処置	臼井
6月30日(水)	8:30~10:15	分娩介助技術(3)：臨地での分娩介助法	矢神
6月30日(水)	10:25~14:45	演習②：分娩介助デモンストレーション	笹川 米澤 臼井
7月7日(水)	13:00~20:30	分娩介助技術, 演習：フリースタイル分娩	中根
7月14日(水)	14:55~18:35	分娩介助技術 演習③：超音波診断技術	瀬山

非常勤講師：矢神智美 東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科病棟 副看護師長
中根直子 日本赤十字医療センター 看護部 副看護部長
瀬山貴博 東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科 助教

e. 助産学V 修士課程1年前期

目的：妊娠・分娩・産褥期および新生児期における助産診断・援助技術について、その理論的裏付けを考えるとともに、実際に援助できる技術を身に付ける。有効な助産技術について評価・改善する方法についても考察する。さらに緊急時の対応についても学び、継続学習につなげられる力を養う。

参考書：

- ・助産学講座 4. 母子の心理・社会学, 医学書院
- ・助産学講座 5. 助産診断・技術学I, 医学書院
- ・助産学講座 6. 助産診断・技術学II[1], 医学書院
- ・助産学講座 7. 助産診断・技術学II[2], 医学書院
- ・助産学講座 8. 助産診断・技術学II[3], 医学書院
- ・仁志田博司. 新生児学入門, 第3版, 医学書院
- ・日本版救急蘇生ガイドライン2015に基づく新生児蘇生法テキスト改訂第3版 メジカルビュー社

講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
5月13日(木)	13:00~16:40	正常新生児の生理と観察のポイント	米澤
5月19日(水)	13:00~14:55	正常・ハイリスク新生児の観察とケアのポイント	米澤
5月24日(月)	13:00~16:40	事例による助産計画の展開	笹川
6月3日(木)	13:00~16:40	分娩期のケア：PICOによる根拠にもとづくケア	笹川
6月28日(月)	13:00~16:40	新生児蘇生技術(NCPR Bコース)	内藤
6月28日(月)	16:50~18:35	NICUでの児と家族の看護	内藤
7月12日(月)	13:00~16:40	妊婦・褥婦のフィジカルアセスメント	笹川 米澤 臼井
9月21日(火)	13:00~16:40	会陰切開・縫合術・産科救急	笹川 米澤

非常勤講師：天願愛 東京大学医学部附属病院 NICU/GCU
新生児集中ケア認定看護師
内藤梨帆 同上

f. 助産学VI 修士課程1年前期

目的：助産業務を安全に・円滑に遂行するために必要な助産管理・運営の原理と技法、法的側面についての知識を深め、助産師の社会的役割についての責務を理解する。さらに理論やモデルを踏まえ、助産師の様々な活動の評価、改善のための方策について学ぶ。

参考書：

- ・編集) 厚生労働科学研究 妊娠出産ガイドライン研究班, 科学的根拠に基づく

快適で安全な妊娠出産のためのガイドライン 2013 年版 (第 1 版), 金原出版, 東京.

- ・ 日本産婦人科学会, 日本産婦人科医会, 産婦人科診療ガイドライン 2017, 日本産婦人科学会出版
- ・ 助産学講座 10 助産管理 医学書院
- ・ 日本助産師会刊 「助産所開業マニュアル」
- ・ メディカ出版 「周産期管理・看護マニュアルー正常産からハイリスクまで」
- ・ 愛育病院 「マタニティノート」
- ・ 藤森敬也. 「胎児心拍数モニタリング講座」改訂 2 版, メディカ出版
- ・ 村田雄二 (編著). 「周産期の生理学」メディカ出版

講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
4 月 26 日 (月)	14:45~16:40	クリニカルガイドライン 2 : 妊娠出産	臼井
5 月 12 日 (水)	13:00~16:40	クリニカルガイドライン 1 : 分娩管理	笹川
6 月 2 日 (水)	14:55~16:40	助産管理の基本概念とプロセス, 要点と特徴	春名
6 月 16 日 (水)	13:00~16:40	病院における助産管理	石川
1 月 31 日 (月)	13:00~16:40	助産院における助産管理	岡本

非常勤講師 : 石川紀子 社会福祉法人 恩賜財団 母子愛育会 総合母子保健センター
愛育病院 看護部長

岡本登美子 ウパウパハウス岡本助産院 院長

(4) 大学院実習

1) 助産師教育コース (助産師教育コース課程履修者必修)

a. 助産学管理実習 修士課程 1 年夏期

担当 : 春名めぐみ, 笹川恵美, 米澤かおり, 臼井由利子

目的 : 助産院および病院において助産業務管理の実際を学び, それぞれの施設における助産管理・運営, ケア内容や助産師の役割を比較・検討する。
さらに, ケアの受け手から求められるサービス提供のあり方, ケアの受け手とのエンパワーメント, 他職種との連携について, 文献等を用いて考察し, 理論的に考える視点を養う。

期間 : 令和 3 年 6 月 16・23 日, 令和 4 年 1 月 31 日~2 月 2 日

実習施設 : 総合母子保健センター愛育病院
ウパウパハウス岡本助産院

実習時間 : 8 : 00~16 : 00

b. 助産学実践実習 I 修士課程 1 年夏期~後期

担当 : 春名めぐみ, 笹川恵美, 米澤かおり, 臼井由利子

目的 : 妊婦外来・助産師外来において, 妊娠の診断および妊娠経過を把握で

き、妊娠期を安全に継続するための個別的な助産ケアを計画、実践する方法を学ぶ。また、対象の背景や分娩・産褥・新生児期の経過をふまえ、退院後の生活を視野にいたした予防的な助産ケアを実践、評価する能力を養う。さらに、家庭訪問等の継続的なケアの実施を通し、母子保健医療チームのあり方や、母子とその家族がより健康な経過をたどるための支援方法を学ぶ。症例を通して、対象理解を深め、研究課題を考察していく力を養う。

期間：産褥継続実習 令和3年7月26日～令和4年3月31日

産科外来実習 令和3年10月11日～10月27日、
令和3年9月17日・22日

助産院の妊婦健診・産後ケア

令和4年1月19日・1月24日

実習施設：東京大学医学部附属病院

(女性診療科・産科病棟、女性診療科・産科外来)

みづき助産院

実習時間：8：15～16：00（外来8：30～）

c. 助産学実践実習II 修士課程1年後期

担当：春名めぐみ, 笹川恵美, 米澤かおり, 白井由利子, 宮本裕子, 橋本麻衣,
高見唯香

目的：分娩介助実習において、分娩期を中心とした産婦・褥婦、および胎児・新生児の健康状態をアセスメントし、適切な助産技術を実施するための基礎的な知識・技術・態度を習得し、実践する。さらに、安全、安心、快適、満足なお産の実現に向けた助産ケアの創造のために必要な知識・技術を習得し、継続学習につなげる。

期間：分娩介助実習

病院実習 令和3年8月10日～8月20日

令和3年10月11日～12月16日

助産院実習 令和3年9月27日～10月9日 うち1週間

実習施設：東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科病棟

総合母子保健センター愛育病院 LDR室

矢島助産院

(5) 博士論文

清水咲月

「Relationship between facial skin problems with a focus on inflammatory cytokines and presence of *Malassezia* in 1-month-old infants」 (生後1か月児の顔の皮膚トラブルにおける炎症性サイトカインとマラセチアとの関連)

(6) 修士論文

城戸真和子

「A global survey on national standard care for newborn bathing」 (新生児沐浴の標準ケアに関する国際調査)

三瓶頼子

「Factors associated with the duration of the second stage of labour: A retrospective chart review」 (分娩第2期所要時間に関連する要因：後ろ向きカルテ調査)

丹家歩

「Effectiveness of an online Japanese version of mindfulness-based childbirth and parenting program on prenatal mental health: A single group pre-post test」 (出産と育児のためのマインドフルネスオンライン日本語版プログラムが妊婦のメンタルヘルスに及ぼす効果：一群前後比較試験)

富田綾

「Development and Validation of the Japanese Version of the Infant Breastfeeding Assessment Tool」 (乳児哺乳行動アセスメントツールの日本語版作成と妥当性検証)

若林南奈

「Association of serum docosahexaenoic acid and eicosapentaenoic acid levels with dietary intakes and supplement use during pregnancy: A prospective observational study. (血清ドコサヘキサエン酸、エイコサペンタエン酸値と、食事摂取量およびサプリメント使用の関連: 前向き観察研究)」

5. 学内外の活動

(1) 学内の活動・役割

春名めぐみ

化学物質管理担当者	平成 15 年 4 月～
女性休養室管理担当者	平成 21 年 10 月～
男女共同参画委員会委員	平成 27 年 4 月～
医学部倫理委員会 委員	平成 27 年 4 月～
健康総合科学科 教育委員	平成 28 年 4 月～
教職課程・学芸員等部会 委員	平成 29 年 4 月～
教務委員会 委員	令和元年 4 月～
入試実施委員会 委員	令和元年 4 月～

笹川恵美

倫理指導委員	平成 27 年 4 月～
--------	--------------

(2) 学外の活動・役割

春名めぐみ

日本母性衛生学会・総務部幹事・専任査読者	平成 15 年 12 月～
編集委員	平成 27 年 9 月～
周産期メンタルヘルス研究会 (PSI-JAPAN) 理事	平成 19 年 4 月～
日本周産期メンタルヘルス学会 理事	平成 22 年 4 月～
日本助産評価機構 第三者教育評価 評価員	平成 27 年 6 月～
日本看護科学学会 和文誌編集長	令和元年 4 月～
Nursing and Health Sciences Reviewer	平成 30 年～
International advisory and review board member of Korean Society of Women Health Nursing	令和元年～
日本助産学会 理事 学術振興委員会 委員長	令和 2 年～
日本家族療法学会第 37 回大会 実行委員	令和 2 年

笹川恵美

日本助産学会・専任査読者	平成 29 年 2 月～
日本看護科学学会・査読者	平成 30 年 2 月～
BMC Women's Health 査読者	令和 3 年 10 月～
日本助産師会・国際委員会	令和 3 年 4 月～
全国助産師教育協議会・組織強化委員会 委員	令和 3 年 4 月～
日本助産学会・助産ガイドライン解説版 (妊産婦・家族向け) ワーキンググループ	令和 3 年 2 月～
JICA 草の根技術協力事業 エルサルバドル 国立女性病院における科学的根拠に基づいた 人間的出産プロジェクト プロジェクトマネージャー	平成 29 年 12 月～

米澤かおり

日本母性衛生学会 査読委員	平成 29 年 9 月～
日本助産学会 編集委員	平成 30 年 4 月～
日本看護科学学会 和文誌専任査読委員	令和元年 10 月～
日本新生児看護学会 NICU に入院している新生児の 痛みのケアガイドライン委員会委員	令和 3 年 10 月～

臼井由利子

日本助産学会 学術振興委員	令和 2 年～
北村メンタルヘルス研究所 倫理委員会委員	令和 2 年～

(3) その他(学内外における講義・講演など)

笹川恵美

「助産学特論 X」講師

講義題目：国際母子保健活動論

国際医療福祉大学大学院 2021 年 5 月 26 日

笹川恵美

「ウーマンズヘルステ論Ⅳ」講師

講義題目：持続可能な開発目標 国際保健でのウーマンズヘルス

「助産学特論Ⅲ」講師

講義題目：公衆生成と地域母子保健学

東京女子医科大学 2021年9月29日

6. 教室日誌

2021年	4月1日	看護系教員顔合わせ
	4月2日	母性看護学・助産学教室 顔合わせ・新入生ガイダンス 助産師教育コース ガイダンス
	4月8日～5月27日	母性看護学・助産学特論I 講義
	4月5日～9月10日	助産学I 講義
	4月14日～7月14日	助産学IV 講義・演習
	4月19日～1月25日	助産学III 講義
	4月26日～1月31日	助産学VI 講義
	5月13日～9月21日	助産学V 講義
	5月13日	令和2年度第1回病院看護部および健康科学・看護学科看護系教員連絡会議, 東大病院実習打ち合わせ
	5月15日	健康科学・看護学専攻 入試説明会
	5月20日～9月15日	助産学II 講義
	6月16日・23日	助産学管理実習 (愛育病院)
	7月26日～7月30日	助産学実践実習I・II (東大病院)
	8月10日～8月20日	助産学実践実習II (愛育病院)
	9月2日～9月24日	母性看護学・助産学特論II 講義
	9月27日～10月9日	助産学実践実習II (矢島助産院)
	10月1日	母性看護学・助産学教室 同窓会
	10月7日～11月18日	母性看護学 講義
	10月11日～12月3日	助産学実践実習II (東大病院)
	12月3日	助産学実践実習II 実習報告会 (東大病院)
	12月6日～12月16日	助産学実践実習II (愛育病院)
	12月9日	令和2年度第2回病院看護部および健康科学・看護学科看護系教員連絡会議
	12月10日	神奈川県助産師会 教務部会

12月14日	助産学実践実習Ⅱ 実習報告会（愛育病院）
12月23日	看護科学専修ガイダンス
1月17日～1月27日	助産学実践実習Ⅰ（みづき助産院）
1月20日～1月21日	修士論文発表会
2月1日	卒業論文発表会
2月4日	卒論ガイダンス
2月7日～2月18日	母性看護学実習
2月18日	第3回愛育病院5校合同会議
3月3日	母性看護学・助産学教室 同窓会
3月7日	専攻看護系 博士修了生 発表会
3月22日	専攻看護系送別会
3月24日	母性看護学・助産学教室 送別会 健康科学・看護学専攻 学位授与式
3月25日	健康総合科学科 卒業式

7. 教室員名簿

<2021 年度>

職名	氏名	勤務先 名称・住所
教授 2020.1.1～	春名 めぐみ	東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻, 母性看護学・助産学分野
助教 2015.4.1～	笹川 恵美	同 上
助教 2016.5.16～	米澤 かおり	同 上
助教 2020.4.1～	臼井 由利子	同 上
非常勤講師 (大学院/助産学) 2020.4～	石川 紀子	恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター 愛育病院 〒105-8321 東京都港区芝浦 1-16-10
非常勤講師 (学部/母性看護学) 2018.4～	今井 晶子	恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター 愛育病院 〒105-8321 東京都港区芝浦 1-16-10
非常勤講師 (大学院/助産学) 2006.4～	井村 真澄	日本赤十字看護大学母性看護学、大学院国際保健助産学 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-3
非常勤講師 (大学院)	大田 えりか	聖路加国際大学 看護学部 〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1
非常勤講師 (大学院/助産学) 2018.4～	岡本 登美子	ウパウパハウス岡本助産院 〒211-0041 神奈川県川崎市中原区下小田中 1-5-31
非常勤講師 (学部/母性看護学) 2018.4～	岡本 行江	社会福祉法人 埼玉医大福祉会 医療型障害児入所施設 カルガモ家 〒350-0844 埼玉県川越市鴨田 1930 番地 1
非常勤講師 (大学院/助産学) 2013.4～	小笹 由香	東京医科歯科大学医学部附属病院 〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45
非常勤講師 (学部/救急処置) 2017.4	佐藤 智加	東京大学医学部附属病院 救急科
非常勤講師 (大学院/助産学) 2020.4～	瀬山 貴博	東京大学 医学部 産科婦人科学教室
非常勤講師 (大学院) 2019.4～	竹内 文乃	慶應義塾大学 医学部 〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35
非常勤講師 (大学院/助産学) 2005.4～	対馬 ルリ子	医療法人社団 ウィミンズ・ウェルネス 対馬ルリ子女性ライフクリニック銀座 〒104-0061 東京都中央区銀座 2-6-5 7階
非常勤講師 (大学院/助産学) 2020.4～	天願 愛	東京大学医学部附属病院 NICU/GCU
非常勤講師 (大学院/助産学) 2019.4～	内藤 梨帆	東京大学医学部附属病院 NICU/GCU
非常勤講師 (大学院/助産学) 2005.4～	中根 直子	日本赤十字社医療センター 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-22
非常勤講師 (学部/母性看護学) 2013.4～	永松 健	東京大学 医学部 産科婦人科学教室

非常勤講師 (大学院) 2018.4～	福井 トシ子	公益社団法人 日本看護協会 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2
非常勤講師 (学部/母性看護学) 2020.4～	丸山 暁子	東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科
非常勤講師 (学部/母性看護学) 2002.10～	三宅 はつえ	もものみ助産院 (出張開業) 〒306-0023 茨城県古河市本町 4-7-1-2-503
非常勤講師 (大学院/助産学) 2019.4～	村上 明美	神奈川県立保健福祉大学 〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町 1-10-1
非常勤講師 (大学院/助産学) 2020.4～	矢神 智美	東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科
非常勤講師 (大学院助産学) 2019.4～	安田 貴昭	埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック 〒350-8550 川越市鴨田 1981 番地
大学院生 (博士 5 年) 2014.4～	浅井 百合絵	東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻, 母性看護学・助産学分野
大学院生 (博士 3 年) 2016.4～	清水 咲月	同 上
大学院生 (博士 2 年) 2016.4～	大堀 璃子	同 上
大学院生 (博士 1 年) 2019.4～	田中 萌子	同 上
大学院生 (博士 1 年) 2017.4～	松原 愛海	同 上
大学院生 (博士 1 年) 2021.4～	村本 美由希	同 上
大学院生 (休学中) 2017.4～	瀬戸口 舞嘉	同 上
大学院生 (休学中) 2018.4～	瀬戸 菜月	同 上
大学院生 (休学中) 2018.4～	横山 萌莉	同 上
大学院生 (休学中) 2019.4～	中野 恵子	同 上
大学院生 (休学中) 2019.4～	西原 菜帆	同 上
大学院生 (修士 2 年) 2019.4～	田口 菜々子	同 上
大学院生 (修士 2 年) 2020.4～	城戸 真和子	同 上
大学院生 (修士 2 年) 2020.4～	三瓶 頼子	同 上
大学院生 (修士 2 年) 2020.4～	丹家 歩	同 上
大学院生 (修士 2 年) 2020.4～	富田 綾	同 上
大学院生 (修士 2 年) 2020.4～	山本 祭	同 上
大学院生 (修士 2 年) 2020.4～	若林 南奈	同 上

大学院生（修士1年） 2021.4～	青山 紗都子	同 上	
大学院生（修士1年） 2021.4～	大山 朋実	同 上	
大学院生（修士1年） 2021.4～	戸瀬 知実	同 上	
大学院生（修士1年） 2021.4～	山田 桃子	同 上	
大学院生（休学中） 2019.4～	松原 里奈	同 上	
客員研究員 2012.4～	堀田 久美	同 上	
客員研究員 2015.4～	白石 三恵	同 上	
客員研究員 2017.4～	松崎 政代	同 上	
客員研究員 2019.4～	島田 三恵子	同 上	
客員研究員 2020.4～	疋田 直子	同 上	
客員研究員 2021.4～	上別府 圭子	同 上	
客員研究員 2021.4～	キタ 幸子	同 上	
客員研究員 2021.6～	野村 由実	同 上	
客員研究員 2022.1～	黒川 李奈	同 上	
特任研究員 2021.5～	森崎 真由美	同 上	
事務補佐員 2006.7～	渡部 由美		東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻,母性看護学・助産学分野
学術支援職員（助産実習指導員） 2019.4～2022.3	宮本 裕子	同 上	
学術支援職員（助産実習指導員） 2020.4～2022.3	橋本 麻衣	同 上	
学術支援職員（助産実習指導員） 2021.4～2022.3	高見 唯香	同 上	

母性看護学・助産学分野年報 第 20 号
発行年月日： 2022 年 3 月 31 日
発行責任者： 〒113-0033 東京都文京区本郷 7-
3-1
東京大学大学院医学系研究科
健康科学・看護学専攻
母性看護学・助産学分野
春名めぐみ
Tel & Fax: 03-5841-3396
